

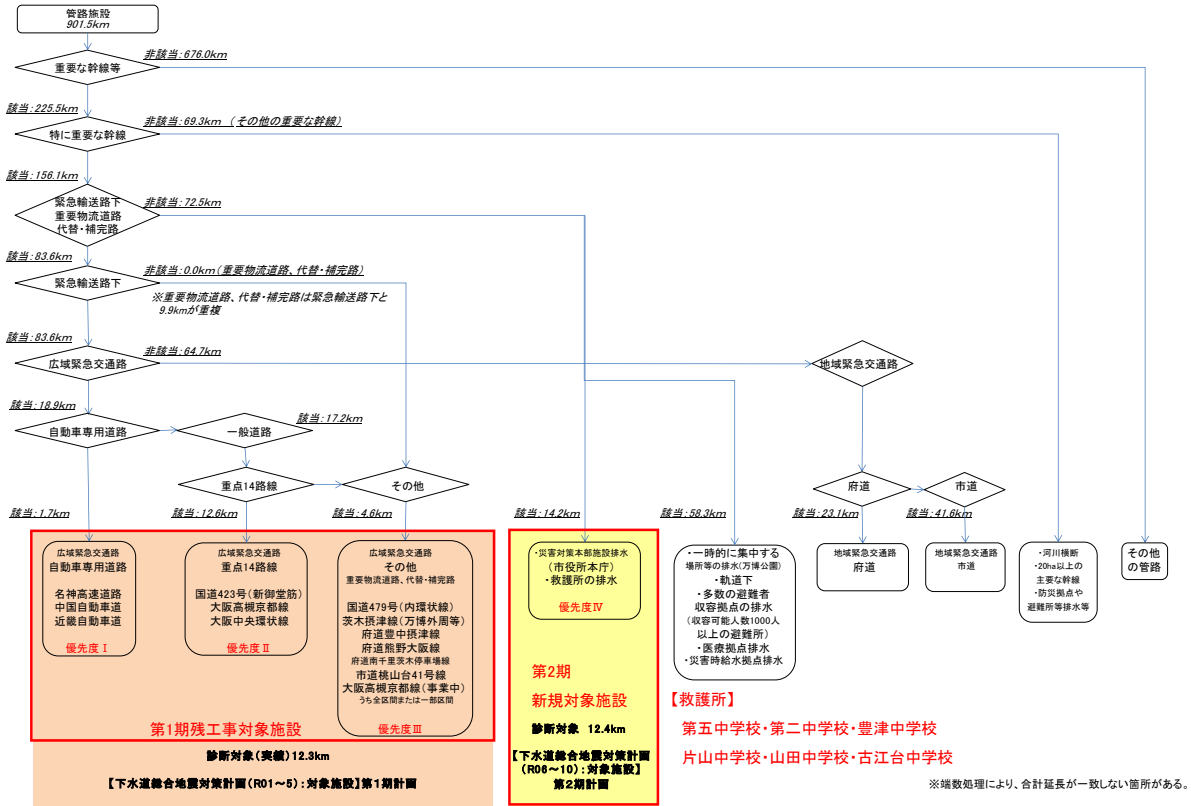
令和6年度～令和10年度で実施する吹田市下水道総合地震対策計画（第2期）を策定。

○事業実施優先順位について

- 令和元年度～令和5年度を第1期として地震対策事業を進めてきた。
- 第2期については、その後の実施予定として令和6年度～令和10年度の実施内容を計画として策定。

【管路施設】

- ・新規対象施設として災害対策本部施設・救護所からの排水経路について耐震診断を実施し、必要に応じて耐震化を進める。
- ・第1期計画にて耐震診断を実施し、耐震化が必要な施設のうち工事未着手の耐震化工事を実施。



【救護所】
 第五中学校・第二中学校・豊津中学校
 片山中学校・山田中学校・古江台中学校
※端数処理により、合計延長が一致しない箇所がある。

【処理場・ポンプ場施設】

○各処理場・ポンプ場別に対象施設を抽出し、施設毎に機能別優先度を設定し、耐震化状況を考慮して事業実施優先度を決定。

- ・基本方針は、各処理場及びポンプ場単位での整備とし、耐震対策が必要となる施設の耐震診断をすべて実施し、必要に応じて耐震化詳細設計、及び耐震化工事を実施する。

- ・事業実施順位は、南吹田下水処理場⇒川面下水処理場⇒川園ポンプ場の順番とし、川面下水処理場については、施設の方向性が確定した後整備スケジュールを整理する。

- ・本計画期間内の事業実施は、第1期計画期間内で未実施の耐震診断及び耐震化工事を実施する。南吹田下水処理場は、令和4、5年度の診断を踏まえた詳細診断（1～2系水処理施設）と汚泥処理管理棟の耐震化詳細設計及び耐震化工事を実施し、川面下水処理場は対象施設の耐震診断、川園ポンプ場では対象施設の耐震診断及び耐震化詳細設計を実施する。

対象施設		事業実施優先度
南吹田下水処理場	4 1系水処理施設(最初沈殿池)	優先度1
	5 1系水処理施設(反応槽)	優先度1
	6 1系水処理施設(最終沈殿池)	優先度1
	7 2系水処理施設(最初沈殿池)	優先度1
	8 2系水処理施設(反応槽)	優先度1
	9 2系水処理施設(最終沈殿池)	優先度1
	13 汚泥処理管理棟	優先度1
川面下水処理場	5 旧圧送ポンプ室	優先度2
	6 最初沈殿池	優先度3
	7 反応槽	優先度5
	8 最終沈殿池	優先度5
	9 最終沈殿池	優先度5
	15 汚水圧送管着水井・地下タンク貯蔵所	優先度5
	16 汚泥圧送室	優先度5
	17 汚水連絡管	優先度5
	19 連絡管1(終沈)	優先度5
	20 連絡管2(終沈)	優先度5
21 連絡管3(塩素混和池-ポンプ棟)	優先度2	
22 連絡管4(終沈-塩素混和池)	優先度2	
23 連絡管廊	優先度5	
川園ポンプ場	1 旧管理棟(電気室)	優先度4
	2 ポンプ棟(管理室)	優先度4
	3 ホッパー棟	優先度5
	4 沈砂池	優先度2
	5 滯水池	優先度5
	6 放流渠(φ3000)	優先度2

○第二期計画における 実施内容

【管路施設】

- ・管路施設の耐震診断（調査含む。）：L=12.4km
- ・管路施設の耐震化詳細設計：L=1.5km
- ・管路施設の耐震化工事（管更生工法等）：L=2.2km（人孔耐震化）：N=40基

【処理場・ポンプ場施設】

対象施設		診断		設計	工事	
		線形	非線形			
南吹田下水処理場	4 1系水処理施設(最初沈殿池)	※	○	○	○	
	5 1系水処理施設(反応槽)	※	○	○	○	
	6 1系水処理施設(最終沈殿池)	※	○	○	○	
	7 2系水処理施設(最初沈殿池)	※	○	○	○	
	8 2系水処理施設(反応槽)	※	○	○	○	
	9 2系水処理施設(最終沈殿池)	※	○	○	○	
	13 汚泥処理管理棟			○	○	
	川面下水処理場	5 旧圧送ポンプ室	○			
		6 最初沈殿池	○			
		7 反応槽	○			
		8 最終沈殿池	○			
		9 最終沈殿池	○			
		15 汚水圧送管着水井・地下タンク貯蔵所	○			
16 汚泥圧送室		○				
17 汚水連絡管		○				
19 連絡管1(終沈)		○				
20 連絡管2(終沈)		○				
21 連絡管3(塩素混和池-ポンプ棟)		○				
22 連絡管4(終沈-塩素混和池)		○				
23 連絡管廊		○				
川園ポンプ場	1 旧管理棟(電気室)	○		○		
	2 ポンプ棟(管理室)	○		○		
	3 ホッパー棟	○		○		
	4 沈砂池	○		○		
	5 滯水池	○		○		
	6 放流渠(φ3000)	○		○		

※：令和4年度に実施済

- ・南吹田下水処理場の耐震診断：6施設
1系水処理施設【非線形】（最初沈殿池、反応槽、最終沈殿池）
2系水処理施設【非線形】（最初沈殿池、反応槽、最終沈殿池）

- ・南吹田下水処理場の耐震化詳細設計及び工事：7施設
1系水処理施設（最初沈殿池、反応槽、最終沈殿池）
2系水処理施設（最初沈殿池、反応槽、最終沈殿池）
汚泥処理管理棟（設計：解体、工事：管理棟建設及び解体）

- ・川面下水処理場の耐震診断：13施設
旧圧送ポンプ室、最初沈殿池、反応槽、最終沈殿池、最終沈殿池（増設）、汚水圧送管着水井・地下タンク貯蔵所、汚泥圧送室、汚水連絡管、連絡管1（終沈）、連絡管2（終沈）、連絡管3（塩素混和池-ポンプ棟）、連絡管4（終沈-塩素混和池）、連絡管廊

- ・川園ポンプ場の耐震診断及び耐震化詳細設計：6施設
旧管理棟（電気室）、ポンプ棟（管理室）、ホッパー棟、沈砂池、滯水池、放流渠（φ3000）

○計画スケジュール

○令和6年度～令和10年度について、下記スケジュールにて計画策定。

年次計画及び年割額							(百万円)	
対象施設	事業内容	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	計	事業量
管路施設	耐震診断	67.5	79.3	-	-	-	146.8	12.4km
	耐震化詳細設計	19.1	19.1	19.1	-	-	57.3	1.5km
	耐震化工事	587.6	280.2	502.6	490.2	498.9	2,359.5	2.2km,40基
処理場施設	耐震診断	206.0	-	-	47.7	-	253.7	2処理場
	耐震化詳細設計	-	-	161.8	-	-	161.8	1処理場
	耐震化工事	-	-	295.0	90.0	672.8	1,057.8	1処理場
ポンプ場施設	耐震診断	-	53.6	-	-	-	53.6	1ポンプ場
	耐震化詳細設計	-	-	-	66.0	-	66.0	1ポンプ場
合計		880.2	432.2	978.5	693.9	1,171.7	4,156.5	